

令和 3 年度

事業計画書



吉幸会のミッション・ビジョン・バリュー

『吉幸会のミッション（理念）』 ～法人が果たすべき役割～

「私たちは、健やかな育成と日常の為、
創意工夫して利用者を支援します」

『吉幸会のビジョン（理想）』 ～法人のあるべき姿～

「常に志を高く掲げ、既成の概念にとらわれることなく
挑戦する地域の創造者となろう」

「誠実を旨とし、笑顔と創意工夫をもって
利用者のサポーターとなろう」

『吉幸会のバリュー（倫理）』 ～職員の持つべき姿勢～

1. 我々はプロであることを自覚し、誇りと責任を持ちましょう。
2. 働くことで誰かの役に立つ素晴らしさ。
その喜びと感動を忘れない
3. 慢心せずに仕事を見つめ、常に発想と工夫をしましょう。
4. 「変化」を恐れず研鑽を重ね、自らの信念を磨きましょう。
5. 会社・組織は「人の和」であると知り、和を尊びましょう。
6. 常に謙虚な心を失うことなく万物へ感謝し、
礼節をわきまえる心を持ちましょう。
7. 自ら主張し、それ以上に他者の主張に耳を傾けましょう。
8. 「わくわく」心を忘れず、
職業人生を笑顔でエンジョイしましょう

運 営 方 針

基 本 方 針

「平成」から「令和」となり、我が国では人口減少社会という局面を迎え、平均寿命の伸延により「人生100年」といわれる時代が到来しようとしています。

長年続いてきた少子高齢化は、人口減少と高齢化がピークを迎える今後、約20年間のあいだに、急激な担い手の減少と認知症高齢者の増加という形となって私たちの生活に大きな影響を及ぼしております。

昨年、私たちは新型コロナウイルスの感染拡大という大きな困難に見舞われました。

この感染拡大の影響は、地域住民やサービス利用者の生活に様々な面で大きな変化をもたらしました。私たち社会福祉法人は、感染症にくじけることなく最善の努力をつづけて、この困難な状況を乗り越え児童や高齢者の健康と生活を守っていかねばなりません。

生活の課題が複雑化し、解決の為に知恵と工夫が必要となってきている今、地域のセーフティーネットとしての役割を果たしてきた社会福祉法人として、私たちが受けている期待は、これまで以上に大きくなっております。

令和3年度は、介護保険制度改正の節目を迎え、国民的生活課題への対応のために、提供するサービスの質向上と新たな取り組みが求められてきております。

今年度も、法人の機能強化とサービスの維持向上につながる取組みを徹底し、経営の安定化を図りつつ地域の期待に応え、さらなる地域貢献を果たしてまいります。

I. 実 施 事 業

1, 第一種社会福祉事業

- (1) 介護老人福祉施設事業(広域型従来型)・・・特別養護老人ホーム「みろく苑」
- (2) 介護老人福祉施設事業(広域型ユニット型)・特別養護老人ホーム「ゆうなぎの里」
- (3) 介護老人福祉施設事業(密着型ユニット型)・・・特別養護老人ホーム「ひだまり」
- (4) 介護老人福祉施設事業(密着型ユニット型)・・・特別養護老人ホーム「能舞の里」
- (5) 介護老人福祉施設事業(密着型ユニット型)・・・特別養護老人ホーム「しおさい岬」
- (6) 介護老人福祉施設事業(密着型従来型)・・・特別養護老人ホーム「いちいの森」
- (7) 介護老人福祉施設事業(広域型従来型)・・・特別養護老人ホーム「野辺地ホーム」
- (8) 介護老人福祉施設事業(密着型従来型)・・・特別養護老人ホーム「ラ・メール白山台」
- (9) 介護老人福祉施設事業(密着型従来型)・・・特別養護老人ホーム「ラ・メール小中野」

2, 第二種社会福祉事業

- (10) 短期入所生活介護事業(従来型)・・・ショートステイ「みろく苑」
- (11) 短期入所生活介護事業(ユニット型)・・・ショートステイ「ひだまり」
- (12) 短期入所生活介護事業(ユニット型)・・・ショートステイ「能舞の里」
- (13) 短期入所生活介護事業(ユニット型)・・・ショートステイ「しおさい岬」
- (14) 短期入所生活介護事業(従来型)・・・ショートステイ「野辺地ホーム」
- (15) 短期入所生活介護事業(従来型)・・・ショートステイ「ラ・メール白山台」
- (16) 短期入所生活介護事業(従来型)・・・ショートステイ「ラ・メール小中野」
- (17) 通所介護事業・・・デイサービスセンター「みろく苑」
- (18) 認知症対応型共同生活介護事業(隣接型)・・・グループホーム「みろく苑」
- (19) 認知症対応型共同生活介護事業(単独型)・・・グループホーム「みろくの郷けんど」
- (20) 認知症対応型共同生活介護事業(単独型)・・・グループホーム「みろくの郷かぐち」
- (21) 保育所(指定管理)・・・佐井村保育所

3, 公益事業

- (22) 居宅介護支援事業・・・居宅介護支援センター「みろくの郷」
- (23) 居宅介護支援事業・・・「うらら」居宅介護支援センター

Ⅱ. 事業実施計画

○ 法人運営

・運営方針

令和3年度は、介護報酬改定に対応しながら、提供するサービスの専門性と質の向上、リスクに対応する事業継続ための取組み、魅力ある組織づくり、テクノロジー活用による現場の革新などに取り組みながら、漫然とせず、法人に常に成長と革新をもたらすよう努めていくことで地域に貢献できる法人運営を行います。

・実施事項

- (1) 令和3年度が介護報酬改定の節目であることから、変化する制度に柔軟に対応しながら、実施する事業が法令を遵守し、サービスの質を高めて「求められる姿」となるような事業所支援に努めます。
- (2) 職員のスキルアップのため、研修のための委員会による計画的な研修機会の提供やサービス必要となる技術指導などを実施します。また職員の介護支援専門員、介護福祉士、管理栄養士などの資格取得に対して様々な角度からサポートを実施して提供するサービスの質の底上げを図ります。
- (3) エssenシャルワークの重要性が叫ばれる一方、人口減少に伴う福祉サービスの人材不足が大きな課題となる中、地域のサービス提供基盤としての責任を果たすため、現場の理解を求めながら、高齢者や障がい者、外国人材などの人的資源の活用や、積極的なテクノロジーの導入により、サービスの質の維持・向上と人手不足解消を両立できる中長期的展望に立った現場改革に法人全体で取り組みます。
- (4) 地域行事への積極的協力、各種協賛やメディアの活用によるPR活動、ホームページ、SNSを通じた積極的な情報発信等を継続的に実施することで法人のイメージアップを推進し法人の魅力を高めます。
また、適切な評価と指導による人事処遇、キャリアパスが明確なあらたな給与システムの導入、福利厚生の実質化などにより、働きやすく、働きがいのある職場環境の構築を進めて、魅力ある組織づくりに取り組むことで組織目標の達成に努めます。
- (5) 激変する環境に柔軟かつ迅速に対応しながら、規模拡大している事業のマネジメントをより確実に実施するため、本部機能のさらなる強化に努めます。自然災害や新型コロナウイルス感染症拡大など、起こりうるさまざまなリスクに対応しながら被害を最小限にとどめて、事業を継続していけるような事前の対策及び即応対応を実現するための計画を策定し、緊急時の組織統治と危機管理体制の強化に取り組みます。

○ 実施事業

1, 介護老人福祉施設事業（広域型従来型）・・特別養護老人ホーム「みろく苑」

・運営方針

入居者の生活環境を改善するため、快適性・安全性・利便性に配慮した施設整備を推進していきます。また、ICTを活用したケア記録システム「ケアコラボ」を導入し、入居者の心身の状態に合わせた適切なケアの実施と、スマートフォンへのケア記録の入力を行うことで、情報の共有、ケア内容の統一がより密に図られ、お一人お一人に合わせた適切な支援の実現を目指します。ご家族様、医療との連携もスマートフォンを活用することでより密に情報の共有を行い、その人の思いや特性に応じた生活を支援し、安心かつ満足した生活が出来るよう努めます。広域型特養として、福祉ニーズに応じていくことができるよう地域やご家族様との結びつきを重視しながら、関係する近隣市町村や介護保険サービス提供者等との連携を図り地域福祉に寄与できる施設づくりを推進していきます。

・利用定員 50名

・実施事項

- (1) 感染症の情報を随時収集し、職員は都度勉強会を行い感染対策に努めます。日常生活に支障をきたすことなく、安心して穏やかに過ごしていただけるよう入居者の要望等を反映しながら環境を整え、また、身体状況に合わせた福祉用具等の購入をすることで、より安心、安全な生活が送れるように努めます。
- (2) 入居者とご家族からの情報収集とケアの個別性を再確認しながら、ケアプランに基づくサービス全体の品質向上を図る為に、ケアプランの作成、実施、モニタリング等についての勉強会、研修会に参加し、職員のスキルアップを進めます。また、研修報告会等で職員に学びや気づきをフィードバックすることで実践に活かせるように取り組みます。
- (3) 入居者が望む生活を自らが主体となって実現できるよう支援していく為に、ICTを活用したケア記録システム「ケアコラボ」を導入し、必要なケアが適切に提供できる様、役割や責任を自覚し、働きがいや自主性を高め、限られた人員・時間を効率よく・効果的に活用する姿勢を持ちながら、職員もやりがいと誇りを持って働けるよう知識や技術の習得を目的に、資格取得支援を推進し内部研修と勉強会の実施に取り組み、職員育成に努めます。

- (4) 介護老人福祉施設の役割、地域の拠点施設として、看取りにも対応できる施設を目指し、外部研修の活用、法人内有資格者による研修を盛り込みながら研鑽に努めます。また看取りに関する指針を現状と照らし合わせ、医療機関とも連携しながら職員が不安なく看取りに取り組める体制作りを進め、看取り支援体制の確立をめざします。入居者やご家族が施設で最期を迎えたいという意向を尊重し、趣旨に沿って人生の最期をその人らしく迎えられるよう支援していきます。

- (5) 地域の関係機関と連携しながら職場体験学習や夏祭りに多くの方に参加して頂き、地域に施設の情報等を発信することで開かれた施設をめざし、地域住民との交流の促進を図っていきます。また、地域住民が気軽に相談できるよう取り組みます。

2, 介護老人福祉施設事業（広域型ユニット型）・・・特別養護老人ホーム「ゆうなぎの里」

・運営方針

年々、高齢化社会が加速して行く現状を捉えた中において介護老人福祉施設の果たす役割と関わりが益々重要となってきたことから、施設利用者に対し良質で高度なサービスの提供が求められてきております。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、当施設の自然環境を最大限に活かし、施設利用者「安らぎと憩いの場」を提供し安心して終末期まで楽しく暮らせるよう生活支援の強化に努めます。また、ICTを活用することにより、これまで以上に施設利用者様の情報を共有し、心身に合わせた介護サービスの提供にも努めます。

・利用定員 39名（空床利用型SS実施）

・実施事項

- (1) 本人・家族の想いやニーズを的確に把握し、課題分析を多職種で検討しながら充実した生活ができるよう施設サービス計画書を作成し、自分らしく生き活きとした施設生活を送れるよう介護サービスの提供に努めます。また、日々多様化するニーズに的確な対応が求めていることから職員の知識力・技術力の向上を目的とした内部・外部研修に取り組み職員の育成と資質強化にも努めます。
- (2) 新型コロナウイルス感染対策を徹底した中において、施設内行事の企画・運営を強化し、施設で暮らしながら地域行事を身近で感じ、四季の移り変わりが実感でき施設生活を楽しんでいただけるよう取り組みます。個人活動では、生活の中でリハビリを積極的に取り入れ、生活の自立支援に努めます。また、地域に根差した社会福祉施設の拠点として、関係機関と共に地域の高齢化社会への活動支援を継続します。
- (3) 入居者の尊厳や尊重を見守り、より良い接遇環境の中で、ぬくもりと優しさを感じていただきながら生活し施設で終末期を安らかに過ごせるよう支援します。また、オンラインを活用し家族と利用者の意思疎通が図られるよう努めます。
- (4) 特養空所時の短期入所介護事業につきましては、協力病院、居宅介護支援事業所や地域包括支援センターなどの関係機関から常に適確な情報を収集した中で在宅介護の負担軽減に努めます。また、迅速・柔軟に個人ニーズに対応できるよう介護サービスの向上にも努めます。

3, 介護老人福祉施設事業（密着型ユニット型） ・ ・ 特別養護老人ホーム「ひだまり」

・ 運営方針

利用者本人が望む生活を送る為に、生活環境を整えながら、自己選択自己決定ができる工夫をし、自律した生活の実現に向けてスタッフが支援できるように努めます。

外国人実習生の受け入れを通して、実習生へ指導することで、スタッフが知識や技術に根拠をもち、基本的ケアが適切に提供できるようにしていきます。

・ 利用定員 29名

・ 実施事項

- (1) オンラインの研修を中心に、経験年数や資格等をもとにそれぞれの職員が必要な研修に参加することでステップアップできるようにします。施設内の研修として、身体拘束や権利擁護、看取りに向けた支援などをしっかり学び、利用者様の安全確保及び終末期に向けた利用者様の体調管理、他業種との連携がしっかりと出来るように体制を整えます。
- (2) 福祉避難所となっていることから、災害時にはその機能が発揮されるようこれを意識した訓練や体制の整備をしていきます。また、職員によるごみ拾いの実施や、地域の方が集まる機会に併せて認知症ミニ勉強会や体験を交えた車椅子操作勉強会を行うことなどにより地域貢献を実現します。
- (3) 国の外国人介護人材の受け入れ制度により「外国人技能実習生の受け入れ」を引き続き実施し、制度の趣旨である『国際貢献のため開発途上国等の経済発展を担う「人づくり」に協力するという目的を踏まえながら、自施設スタッフの介護技術の向上や質的向上も目指していきます。
- (4) コロナ感染症の影響により、利用者様が外出する機会がほとんどなく、面会規制により家族と一年近く会うことができていない方もある現状です。今後は、オンライン面会を推奨し、少しでも多く、ご家族と面会できる機会を設けます。また、少しでも多く楽しみを持って生活できるよう苑内行事を中心にその内容を図ります。

4, 介護老人福祉施設事業（密着型ユニット型） ・ ・ 特別養護老人ホーム「能舞の里」

・ 運営方針

地域密着型の特養として、高齢者が自宅での支援や介護を受けることが困難になっても、住み慣れた地域で安心して生きがいを持って暮らせるよう努めます。

サービス提供にあたっては、関連医療機関との連携を密にして、健康で生きがいを持って暮らせるよう、サービスの質と量を確保し適正な運営に努めます。

・ 利用定員 29名

・ 実施事項

- (1) 入所者、家族が望んでいる生活が実現できるよう業務内容の見直しを行い個別ケアを充実させます。同時に職員間の連携を密にし ケアの統一化を図ります。入所者・家族からの希望、要望を聴取し一人ひとりの日常生活に即応した時間の過ごし方に配慮します。
- (2) 提携医療機関の指示のもと、看護職員を中心に介護職員の協力と連携により入所者の体調管理に万全を尽くします。施設で最期を迎えたいという本人・家族の希望があれば本人・家族と共に安心して最期を迎えることができる環境を整え職員間の認識を共有します。
- (3) 介護職員や看護職員による生活リハビリを導入し、入所者が意欲的に楽しみを持って取り組めるようなプログラム作成を実施・支援します。家族とのコミュニケーションの機会を設け、情報を入手しながら自立に向けたケアに努めます。
- (4) 施設全体の行事に加え、ユニット単位で入所者の意向を反映したイベントを企画します。特に地域イベントへの参加等外出行事を増やし、施設に入所しても地域社会の一員である取り組みを強化します。また、施設広報紙等で情報提供を発信し、施設内行事へのボランティアや慰問等を受け入れ地域住民や来所者とのコミュニケーションを図り、地域交流の機会を設けます。
- (5) 職員研修（法人内外主催）参加の機会を増やし、個々のスキルアップと知識のレベルアップに努めます。又、研修で学んだことを全職員で共有するための施設内実地研修に取り組み、利用者に安心・安定したサービス提供に努めます。
- (6) 当施設も設立以来今年度で満7周年を迎え、着実に地域に定着してきております。今後は、社会福祉法人施設として当施設が地域に根ざすためにも積極的に地域福

祉社会に貢献する必要があるため、行政機関等と緊密に連携を深め、各地区会合や集会等で当施設職員を派遣し、地域住民の方々に地域密着型特別養護老人ホームのサービス内容及び介護知識の普及に努めます。また、年2回の広報誌発行を通じて地域住民各位に当施設の現況報告と啓蒙活動に努めます。

5, 介護老人福祉施設事業（密着型ユニット型） ・ ・ 特別養護老人ホーム「しおさい岬」

・運営方針

開設5年目を迎える中で、新型コロナウイルスの全国的な感染状況は留まることなく今年度も感染予防対策を徹底しながら、施設運営に努めていかなければなりません。

全職員が正しい感染予防知識を深め、施設内においての感染症発生時のシミュレーションを重ねることで、地域利用者がサービスを必要としたとき、安心してサービスを受けられるよう日々、訓練してまいります。

また、コロナ禍によりオンラインでの新たな研修体系や、新たな介護記録システムの導入などICT化が加速する中、その利便性を最大限活用し、しおさい岬の掲げる理念「利用者を第一に考える」を全職員が共通認識のもと、その使命を果たせるよう努めてまいります。

・利用定員 29名

・実施事項

- (1) 新型コロナウイルス感染予防として、標準予防策を徹底するとともに、地域の感染状況を把握しながら、施設内では有事の際に落ち着いた対応が出来るよう、感染予防研修や、ケアの際のシミュレーションなどの訓練を実行します。また、あらかじめ業務継続計画（BCP）を策定し、感染症発生時または、自然災害時などあらゆる状況でも、介護サービスを継続的に提供できる体制を整えます。
- (2) 機能訓練活動の充足を図るため、大間病院の協力のもと、リハビリ指導を実践します。利用者一人ひとりへ、効果的なリハビリの導入により、QOLの向上を図ります。また、介護ケアシステム「ケアコラボ」の運用により記録の効率化、情報共有の利便性を高め、業務の生産性の向上を図ります。
- (3) 認知症高齢者への対応力の底上げを図るため、認知症介護基礎研修受講の斡旋や、施設内においても認知症介護の資質向上を図ります。また、個別の栄養マネジメントの重要性を理解し、栄養士を中心とした多職種が協働し、利用者の状態に応じた栄養管理を計画的に実施します。
- (4) コロナ禍により、利用者の外出頻度の低下が避けられない中、屋内での活動機会の促進を図ります。身体機能の維持を図るためこれまで通り、製作や料理作りを継続しながら、運動や、歌を楽しむ機会を設けるなど、楽しく活動しながら、ADL低下予防や自立生活支援に努めます。

- (5) 地域の多様なニーズに対応できるよう、しおさい岬における看取り介護の体制強化を図り、人生の最終段階におけるプロセスを、より充実させる取り組みを推し進めます。また、地域密着型特養として、協力医療機関である大間病院や、北通り三町村の行政機関などと連携し、セミナーや介護者教室などの企画や、積極的な施設情報の発信など、施設機能を地域に還元できるよう責務を果たします。

6, 介護老人福祉施設事業（密着型従来型）・・・特別養護老人ホーム「いちいの森」

・運営方針

地域密着型の特養として、高齢者が自宅での支援や介護を受けることが困難になっても、住み慣れた地域で安心して生きがいを持って暮らせるよう努めます。

サービス提供にあたっては、関連医療機関との連携を深め健康で生きがいを持って暮らせるよう、サービスの質と量を確保し適正な運営に努めます。

・利用定員 29名

・実施事項

- (1) 入所者、家族が望んでいる生活が実現できるよう個々のニーズの把握に努め、これと同時に職員間の連携を密にしてケアの統一化を図ります。また、本人、家族からの希望、要望をできる限り取り入れられるよう支援していきます。
- (2) 看護職員、介護職員の連携により入所者の体調管理に努めつつ、提携医療機関との関係も密にし適切なアドバイスをいただけるよう努めます。コロナ禍の中で家族との面会を制限しているがオンライン面会の活用を推進し家族とのつながりを感じられるよう配慮します。入所者の変化についても、早めに家族へ伝え共有できる体制を整えます。施設で最期を迎えたいという希望の入所者、家族には安心してできる環境を整え、職員の認識を統一していきます。
- (3) 介護職員中心に生活リハビリを取り組みます。入所者が楽しみを持って取り組めるようなプログラムを作成し意欲的に実施できるよう支援します。ホールで集うことが多いため集団レクリエーションを多く取り入れていきます。
- (4) 地域に沿った行事、季節を感じ取れる行事等を企画します。特に地域イベントへの参加等外出行事は積極的に参加し施設に入居していても地域の中で暮らしていることを感じられるようにします。また、広報紙等を活用し情報提供をしたり、施設内行事での地域住民及びボランティア、慰問等を受け入れコミュニケーションを図ったり、学校行事等を通じて交流の機会を増やし、地域との連携を図っていきます。また、介護教室等を開催し地域住民との交流を活発にします。
- (5) 研修（法人内外主催）に参加し職員個々のレベルアップに努めます。同時に、研修で学んだことを全職員で共有し活かせるような体制を確立します。職員の介護福祉士の知識と技術を生かし介護未経験者の技術向上を目指し施設全体の質の向上に努めます。

- (6) 空床ができた際には、地域で施設サービスを必要としている方の受け入れがスムーズにできるよう、居宅介護支援事業所の介護支援専門員と常に情報共有を図り利用促進に努めます。

7, 介護老人福祉施設事業（広域型従来型）・・・特別養護老人ホーム「野辺地ホーム」

・運営方針

“「喜んでもらえる幸せ」地域に愛される施設でありたい”を基本理念に掲げ、さらに次の4項目を本施設のマottoとして新たに掲げ、利用者の立場にたった福祉サービスを実践することにより利用者から選ばれる施設を目指します。

- ・明るい笑顔とチームワークで暖かい愛情・温かい声掛けをします。
- ・利用者様を家族と思い、“あずましい”生活ができる場を提供します。
- ・常に利用者様の状態を観察し、情報を共有していきます。
- ・地域に愛される施設を目指します。

また、住み慣れた町で、最期まで安心して自分らしく暮らしていきたいという野辺地町民の願いが叶えられるよう、野辺地町や各関係機関と連携し、ご家族や地域住民に愛され信頼される身近な施設づくりを実施していきます。

・利用定員 80名

・実施事項

- (1) 四季折々の行事や慰問等を企画して、利用者様が楽しく生活できるように支援します。
- (2) 定期的に食の嗜好調査や給食会議を行い、わくわくランチデイ（行事食・選択食・バイキング・郷土料理等）を企画して、生き甲斐が持てる食事を提供します。
- (3) 催事を通じてご家族や地域住民も交えた積極的な交流を図り、地域でのコミュニケーション拠点になるよう目指します。
- (4) 職員は、専門職として内・外の研修を通じて認知症のケアや介護技術の向上に努め、より質の高いサービスを提供できるように努めます。
- (5) 野辺地病院医師の定期回診によりご利用者様の健康維持を図ります。歯科医師・歯科衛生士の指導のもと口腔ケアに努め、誤嚥性肺炎を予防します。理学療法士や作業療法士の訪問により、利用者の身体機能維持・向上に努めます。離床の促進や福祉用具の活用によりリスクの軽減を図り、褥瘡予防を強化します。

- (6) 介護人材を確保のため、技能実習生制度による実習生の受け入れをします。受け入れを円滑にするために、国際理解や心構えや等をテーマにした職員研修を実施するとともに、技能実習生に対する地域住民の理解や交流を深める目的で、お祭りや地区のイベント等へ積極的に参加します。

8, 介護老人福祉施設事業（密着型従来型）・・特別養護老人ホーム「ラ・メール白山台」

・運営方針

嘱託医との連携と利用者ご家族との信頼関係を構築しながら、ラ・メール白山台のモットー（基本理念）を目指し、安心安楽で楽しく明るい生活が営める施設づくりをしていきます。またコロナ禍であっても、地域の社会資源を活用しながら、地域との交流や協力をしながらの運営に努めます。

・利用定員 29名

・実施事項

- (1)入居者の医療や看取りに関するニーズに対応できるよう嘱託医との連携を確立し、看取り実施に向けた職員研修を行います。また、入居者自らが、その有する能力を十分に発揮し、他者と共同で生活できるよう、きめ細かいアセスメントとケアの統一を図り、ケアの質的向上を目指します。
- (2)スマートフォンでケア記録ができ、家族も記録の閲覧やコメントもできる「ケアコラボ」の特徴を十分に生かすことで、ICTを有効活用した情報共有に努めていきます。そうすることで家族が関わりやすい環境を整え、本人の望む生活支援に繋がる情報提供や意見交換ができるようにしていきます。
- (3)入居者の外出できないストレスの緩和と楽しみを持って生活していただくため、同地区にある障がい者施設のパンの移動販売や、市内コンビニエンスストアの訪問販売を活用していきます。また、施設内に喫茶コーナーを開設し、ラ・メール白山台での生活が豊かなものにできるよう創意工夫していきます。
- (4)サービスの質的向上を目指し、法人内施設の月間チャレンジの仕組みを取り入れ、内部研修と並行して、知識と技術の向上を目指してきます。また新型コロナウイルスを含めた感染症予防および対策についての研修を定期的に行い、知識と技術の向上を進めながら、感染予防の意識も高め、面会や地域交流など、入居者が施設スタッフ以外の方とも交流できる機会を確保できるよう工夫していきます。

9, 介護老人福祉施設事業（密着型従来型）・・・特別養護老人ホーム「ラ・メール小中野」

・運営方針

「小中野・江陽」地区の人々が、住み慣れた地域の中で安心して自分らしく暮らせるように、関係機関や地域住民との積極的な交流や、本体施設と位置付ける「ラ・メール白山台」との密接な連携を図りながら介護ニーズに応えるため、市の計画に沿って地域密着型介護老人福祉施設事業を運営し、創意工夫を凝らして八戸市の地域包括ケアシステムの充実に寄与します。

・利用定員 29名

・実施事項

- (1) 施設形態をラ・メール白山台のサテライト型施設とし、居室形態の基本を多床室とすることで、低廉な利用料金による利用者負担の軽減を実現し、施設間の相互連携により、人材育成や施設機能の強化、災害時のバックアップ機能を持たせるなど施設整備のメリットを活かせるような運営に努めます。
- (2) 歴史のある小中野・江陽地区で、長きにわたり生活を営まれてきた方々が、若かりし頃を思い出す落ち着いた雰囲気の中で生活できるよう、しつらえに工夫を凝らしします。また、施設環境だけでなくスタッフの対応も含めて、家族や地域の方々が親しみやすく、地域交流の場となれるような雰囲気づくりに努めて地域に愛される「ラ・メール小中野」となるよう目指します。
- (3) 市の高齢者福祉計画に沿って事業を開設し、地域の介護ニーズに応えながら関係機関や地域住民との積極的な交流を図ることで、ラ・メール小中野が地域の福祉コミュニティ拠点となって地域に安心と暮らしやすさをもたらすよう努めます。
- (4) ICT の活用によるケアプランとケアの連動性の確保や認知症や重度者の積極的な受け入れ促進、事故・感染防止対策の徹底を図ることで、一人ひとりの利用者が、住み慣れた地域の中で、馴染みの人間関係を維持しながら「安心、安全な生活を送ることができる」という誰もが願うニーズに応え、入所者満足度と質の高いサービス提供の実現を目指します。
- (5) スタッフが地域内に出かけて積極的に地域住民に働きかける方法などにより、施設の有する機能を地域に開放して、住民の福祉意識の高まりを醸成し、地域包括ケアの充実に繋がる取り組みを実施することで地域に貢献します。

10、短期入所生活介護事業（従来型）・・・ショートステイ「みろく苑」

・運営方針

地域住民から選ばれる事業所を目指し、新型コロナウイルス感染症やその他感染症の対策を講じながら、ケアの質を高め、多様化するニーズに応じていけるよう取り組んでいきます。また、ICTを活用したケア記録システム「ケアコラボ」を活用し、入居者の心身の状態に合わせた適切なケアの実施と、スマートフォンへを使用してケア記録を入力をすることで、情報の共有、ケア内容の統一がより密に図られ、お一人お一人に合わせた適切な支援の実現を目指します。ご家族様、医療との連携もスマートフォンを活用し、より密に情報の共有を行い、その人の思いや特性に応じた生活を支援し、安心かつ満足した生活が出来るよう努めます。介護保険法令の趣旨に従い「利用者の有する能力に応じ可能な限り自立した日常生活を営むとともに、継続して在宅生活を送れる」という目的の理解を深めながら、利用者やご家族の身体的及び精神的負担の軽減が図れる適切なサービス提供に努めます。

・利用定員 10名

・実施事項

- (1) 感染症の情報を随時収集し、職員は都度勉強会を行い感染対策に努めます。過不足なく適切なサービス提供ができるようにICTを活用したケア記録システム「ケアコラボ」を活用し、アセスメント・モニタリングの精度を高め、利用して良かったと感じて頂けるよう日々の関わりを大切にし、在宅生活環境に可能な限り近づいたサービスを提供し、ケアの充実を図り、介護負担の軽減に努めます。
- (2) 福祉用具を活用しながら、利用者個々に合わせたサービス提供ができるようにしていきます。また福祉機器の導入をすることで、職員の身体的負担軽減に努め、利用者が安心して介護を受ける事ができるような物的環境も整えていきます。
- (3) 認知症高齢者へのケアの質を高めることは、サービス事業者はもとより、地域住民の理解を深めていく必要があります。認知症のケアの専門性を高めるための認知症実践車検修等の研修会に参加し、認知症についての知識や対応力を深め、認知症ケアの充実を図ります。また、介護スキルや知識の習得を目的とした実技、研修等を行いチームとしての目標を持ち、統一したケアが出来るように、報告、連絡、相談、確認を継続します。
- (4) 居宅介護支援事業所との連携を高めながら、利用者確保に努め、安定した運営ができることで、長く地域貢献できる事業所を目指していきます。

11, 短期入所生活介護事業（ユニット型）・・・ショートステイ「ひだまり」

・運営方針

自宅での生活を継続できるように、利用の目的、利用者・家族が抱えている悩みに目を向け、少しでも短期入所を利用することで解消できるよう必要な支援を見極めながら、家族・利用者・関係する事業所とも相談しながら支援していきます。

また利用したいと思っていただけるような施設を目指し、職員の声かけ、基本的介助から始まり、画一的なケアではなく、必要な支援の個別性を理解した上でケアを行います。

・利用定員 10名（併設・空床利用型）

・実施事項

- (1) コロナ禍で外部研修が少ないことから、法人内の研修参加に努め、ケア向上、質の向上を図ります。また、リーダーからユニット職員へ介護技術を的確に指導できるようユニット会議時間を有効に活用します。
- (2) 在宅で生活する認知症の方や寝たきりの方の褥瘡予防のために、褥瘡の誘発しやすい部位、体位、誘発条件など記載した冊子をショートステイ利用者の家族に配付し、褥瘡予防に繋がるよう支援します。
- (3) 居宅介護支援事業所のケアマネージャーが立てた計画書をもとに、それぞれの職員が必要な支援ができるように事前に情報収集をきちんと行い、個別ケアができるようにします。

12, 短期入所生活介護事業（ユニット型）・・・ショートステイ「能舞の里」

・運営方針

これまで地域における在宅での生活が通常のサービスのみでは困難な高齢者を受け入れてきたが、今後、より重度の高齢者や認知症、医療対応が必要な高齢者の申込みが見込まれることから、安心して在宅生活が継続できるよう関連機関との連携を図り、地域住民で見守りと必要な施設介護を受けられるよう地域福祉の積極的な貢献に努めます。又、介護者の精神的・身体的負担の軽減を図るため、介護方法の相談にも対応しスムーズに在宅生活に戻すための支援を強化します。

・利用定員 10名（併設・空床利用型）

・実施事項

- (1) 自宅での生活リズムを崩さぬよう事前に担当ケアマネージャー、家族、利用サービス事業者から情報を収集し、職員目線のサービス提供ではなく利用者目線での個別ケアに重きを置いた、利用者に寄り添ったサービスの提供に努めます。
- (2) ショートステイ利用時は生活の行動範囲が狭くなるため、身体機能の低下がみられないよう1日1回程度のレクリエーション（リハビリ）の時間を確保します。日課として行うのではなく自らプログラムを作成し積極的に参加できるよう支援します。
- (3) ヒヤリハット防止のための身体拘束・事故防止委員会活動を定期的で開催し、同様の事故を二度と発生させないための事故検証を徹底し取り組み、利用者に安心したサービス提供に努めます。

13, 短期入所生活介護事業（ユニット型）・・・ショートステイ「しおさい岬」

・運営方針

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、各種在宅サービス利用率の低下などによる社会性の低下、生活不活発による身体機能の低下など、地域高齢者の在宅介護へ与える影響は決して小さくはありません。下北北通り地区の、数少ない社会資源の中でサービス提供事業者は地域高齢者に対し、正当に適切なサービス提供をする姿勢が求められます。

しおさい岬では、全職員の徹底した感染予防対策の継続や、地域の感染状況に即した受け入れ体制を整えるとともに、ご家族や居宅介護支援事業所へタイムリーな情報提供に務めることで、コロナ禍においても、利用者やそのご家族が安心してショートステイを利用できるようサービス提供に努めます。

・利用定員 10名（併設・空床利用型）

・実施事項

- (1) 新型コロナウイルス感染予防として、全職員の標準予防策を徹底するとともに、ショート利用に際し、受け入れ時の健康チェックや、利用中の健康観察に留意し、身体状況に異変が生じた際、適切な初動対応ができるよう、介護職員と看護職員連携のもとケアに努めます。
- (2) 利用者の身体状況や在宅時の生活に配慮した居室空間づくりに努め、ユニット型個室の良さを活かす工夫で、居心地良く過ごしていただきます。
- (3) 利用中の様子は、ケアコラボの有効活用や、送迎時の申し送りを綿密に行い、在宅時、ショート利用時の相互の近況を円滑に把握し、日々のケアに反映できるよう努めます。
- (4) しおさい岬の基本理念「利用者を第一に考える」を念頭に、すべての利用者に対し丁寧で温かみのある対応を心がけます。日々のケアにおいても利用者に関わり、共同で機能訓練活動や趣味活動をサポートするなど、しっかりと寄り添いケアにあたることで利用者の安心感を醸成します。
- (5) 利用者や家族が抱える在宅介護の不安に対して、相談員を中心に、居宅介護支援事業所や関係機関と連携しながら、適切なサービス提供と利用者や家族の精神的なサポートに努め、地域の在宅介護を支えます。

14, 短期入所生活介護事業（従来型）・・・ショートステイ「野辺地ホーム」

・運営方針

地域包括支援センターや居宅介護支援事業所などとの連携を図り、適切な相談援助により地域の介護ニーズを把握します。また、効率的・効果的にサービスを調整しながら、必要な方にサービスが提供できるよう努めます。

また、関係機関へ空床状況を情報提供し、サービスを有効利用をしてもらうことで地域の在宅介護に貢献します。

・利用定員 4名(併設・空床利用型)

・実施事項

- (1) 利用者の心身の状況や個性をよく理解して、環境の変化によって抱く不安や緊張感を和らげるような精神的支援を行いながら、自宅での生活との継続性を重視し、安心して利用できるサービスづくりに努めます。
- (2) 季節に応じた行事やレクリエーション活動、また、天気の良い日には回廊を散歩することで、利用中の生活が充実できるよう支援していきます。また、体を動かして身体機能の維持向上を図り、利用者の自立支援に繋がるサービス提供に努めます。
- (3) 居宅介護支援事業所や保健福祉関係機構との連携を図りながら、ショートステイ利用を促進していきます。また、在宅で介護をしている介護者の介護負担を積極的に軽減するとともに、地域における介護の困りごとや緊急避難的な利用にも対応できるように努めます。

15、短期入所生活介護事業（従来型）・・・ショートステイ「ラ・メール白山台」

・運営方針

八戸市の方々が利用しやすいサービスを目指し、多種多様なニーズにこたえられるようサービスの質的向上を目指しながら、居宅介護支援事業所と家族との情報交換を密に行っていきます。地域の福祉に貢献できるよう、施設の強みをどう役立てていけるかをスタッフ一丸となって考えていきます。

・利用定員 10名（併設・空床利用型）

・実施事項

- (1) 利用者家族・担当ケアマネと情報提供しながら、利用後の在宅生活との継続性を意識し、適切なサービス提供となるよう、スマホで手軽にケア記録ができ、写真や動画も活用して簡単に記録ができる「ケアコラボ」の機能を十分に活用していきます。
- (2) 入居者の施設内生活が豊かなものになるよう、本人の意向を踏まえながら、個々の特徴が反映された日課表を作成していきます。また、ホールや昭和コーナーが入居者にとって使いやすくなるよう空間づくりをしていきます。
- (3) 認知症を患っている利用者の利用が増えてきたことを踏まえ、認知症ケアの知識と技術を高めるため、内部研修と外部研修を活用していきます。安心する環境づくりができるようスタッフ一丸となって勉強していきます。
- (4) 施設や施設スタッフも「社会資源」であることを意識しながら、どんな地域貢献ができるのか、施設の持つ機能やスタッフの能力が、地域にどう役立てることができるかを考えていきます。根城・白山台地区の方々が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりの一端を担えるよう取り組んでいきます。

16. 短期入所生活介護事業（従来型）・・・ショートステイ「ラ・メール小中野」

・運営方針

市役所や居宅介護支援事業所などの関係機関との連携と適切な相談援助により地域の介護ニーズを把握して、居宅介護支援事業所などとの連携を深め、効率的・効果的にサービスを調整しながら、必要な方にサービス提供できるよう努めることで地域における在宅介護に貢献します。

・利用定員 10名（併設・空床利用型）

・実施事項

- (1) 利用者の心身の状況や個性をよく理解して、環境の変化によって抱く不安や緊張感を和らげるような精神的な支援を行いながら、自宅での生活との継続性を重視した個別ケアの提供により、安心して利用できるサービスづくりに努めます。
- (2) 季節に応じた行事やレクリエーション活動などを実施することで、利用中の生活が充実できるように支援しながら体を動かして身体機能の維持向上を図り、利用者の自立支援に繋がるサービス提供に努めます。
- (3) 本体施設である「ラ・メール白山台」で実施するショートステイ事業所との密接な連携、近接する有料老人ホームや居宅介護支援事業所、保健福祉関係機関との連携を図りながら、ショートステイ利用を促進し、在宅で介護をしている介護者の介護負担を積極的に軽減するとともに、地域における介護の困りごとに対して適切な相談援助を実施しながら、緊急避難的な利用にも対応することで、在宅で介護する家族の強力な精神的サポート役になれるよう努めます。
- (4) 嘱託医や協力医療機関との連携により、ショートステイ利用者の医療ニーズに適切に対応して、医療依存度の高い在宅要援護者のサポートや介護の困りごと相談を受け付ける地域の総合窓口機能をしっかりと担っていくことで、誰もが安心して住み慣れた地域で暮らし続けられる地域包括ケアシステムの実現に寄与し、地域貢献に努めます。

17, 通所介護事業・・デイサービスセンター「みろく苑」

・運営方針

新型コロナウイルス感染症やその他感染症の対策を講じながら、住み慣れた自宅での生活がいつまでも自分らしく過ごせるように、日常生活動作の維持と向上を目指すため、目的や目標を掲げ一緒に取り組む環境を作り継続のご利用につなげられるよう支援し、ケアラボの導入で開かれたデイサービスとなるよう努めます。多様化するニーズに対して居宅介護支援事業所や関係機関との連携を密に迅速に的確に柔軟に対応するよう努め利用者及びご家族の不安の軽減を図ります。

・利用定員 23名（総合事業対象を含む）

・実施事項

- (1) 感染症の情報を随時収集し、職員は都度勉強会を行い感染対策に努めます。利用者一人ひとりのニーズと目標を把握し評価を行いながら個別援助に努め、自宅での生活をいつまでも自分らしく継続できるよう支援します。ケアラボを活用し、利用中の様子や取り組みをこまめに伝え開かれたデイサービスとなり、ご家族へ安心していただけるよう努めます。
- (2) 介護サービスの窓口的役割となっている通所サービスを初めてご利用する本人及びご家族に対して、当事業所の取組や利用時に行われていることを説明し、ご利用に際しては、あたたかさや誠実さのある接遇に留意しコミュニケーション能力の向上に努め安心してご利用していただけるよう支援します。
- (3) その方を取りまく環境や多様化するニーズに対応する為に、居宅介護支援事業所や各関係機関との報連相を今後も継続し柔軟な受け入れが出来るよう努めます。当事業所での取組や利用時の様子等をこまめに担当の介護支援専門員へ報告します。ご家族へはケアラボや広報等でお知らせし開かれたデイサービスとなるよう努めます。

18, 認知症対応型共同生活介護事業（隣接型）・・・グループホーム「みろく苑」

・運営方針

地域で必要とされるグループホームを目指し、ICTの活用と職員にしかできない真心で、認知症になっても、自分らしい生活が送れるように、介護職員は専門性を発揮し、ご家族様や医療との連携を密にして、今まで以上の信頼関係が築けるように努めます。

・利用者定員 27名（3ユニット）

・実施事項

- (1) ケアラボの導入により「ケアの見える化」を実践し家族や医療と共有しながら、記録を活用します。家族や医療機関に、連絡・相談を引き続き行いながら、看護師がいないグループホームでも、入居者様や家族様が安心して生活ができるように支援します。
- (2) 限られた人員でも業務の効率化を図ることにより、入居者様と関わる時間を活用し、家庭的な環境の中で、その方の人生録を活かし、会話のきっかけや自分らしい生活を送れるように支援します。介護職員は内部研修や外部研修で学んだ専門分野を発揮し、真心を込めた温かい個別性あるケアサービスができるよう努めます。
- (3) 地域住民が認知症になっても安心してご利用いただける身近な施設として、グループホームだからこそできる家庭的な環境下での、居心地よく、質の高いサービス提供をします。その為に、居宅介護支援事業所やその他の関係機関との情報交換を密にして、入居サービス受け入れに柔軟に対応できる体制作りに努めます。

19, 認知症対応型共同生活介護事業（単独型）・・・グループホーム「みろくの郷けんど」

・運営方針

新型コロナウイルス感染症やその他の感染症の対策を講じながら、認知症のある入居者が家庭的であたたかい雰囲気の中で安心して「その人らしい生活」を送って頂けるよう環境を整え、「ここに入居して良かった。」「入居させて良かった」と思ってもらえるよう質の高い生活援助に努めます。

また、ICTを活用したケア記録システムの導入。「ケアコラボ」を活用し、今まで以上にご家族様や医療、関係機関との情報の共有を図り入居者一人ひとりの「思い」を支援していきます。

・利用者定員 9名（1ユニット）

・実施事項

- (1) 感染症の情報を随時収集し、職員は都度勉強会を行い感染対策に努めます。入居者一人ひとりの思いを尊重し、「その人らしい生活」を送って頂けるよう、それぞれ自分のリズムに沿って自分らしく日常生活を送ることができるよう支援に努めます。
- (2) 認知症の進行、加齢と共に重度化していく入居者一人ひとりの状態に沿ったケアが提供できるよう、「ケアコラボ」を活用し、医療関係、訪問看護、家族と相談・連絡を密にし、本人と家族の望むケア・看取り支援ができるよう内部研修・勉強会を開催し、職員の認知症への更なる理解を深め、認知症ケア・看取りに関する知識等、職員個々のレベルアップに努めます。
- (3) 居宅介護支援事業所やその他の関係機関との連携を図り、入居者の入院などにより一時的に空床になった居室を活用して短期利用サービスを実施することにより、長期的な入院になっても退所せずみろくの郷へ帰ってこられる体制を確保することで、入居者・家族の安心を約束し、また、地域住民の困りごとに対して気軽に相談できる場になることで地域貢献に努めます。

20, 認知症対応型共同生活介護事業（単独型）・・・グループホーム「みろくの郷かぐち」

・運営方針

新型コロナウイルス感染症やその他の感染症の対策を講じながら、認知症のある入居者が家庭的であたたかい雰囲気の中で安心して「その人らしい生活」を送って頂けるよう環境を整え、「ここに入居して良かった。」「入居させて良かった」と思ってもらえるよう質の高い生活援助に努めます。

また、ICTを活用したケア記録システムの導入。「ケアコラボ」を活用し、今まで以上にご家族様や医療、関係機関との情報の共有を図り入居者一人ひとりの「思い」を支援していきます。

・利用者定員 9名（1ユニット）

・実施事項

- (1) 感染症の情報を随時収集し、職員は都度勉強会を行い感染対策に努めます。入居者一人ひとりの思いを尊重し、「その人らしい生活」を送って頂けるよう、それぞれ自分のリズムに沿って自分らしく日常生活を送ることができるよう支援に努めます。
- (2) 認知症の進行、加齢と共に重度化していく入居者一人ひとりの状態に沿ったケアが提供できるよう、「ケアコラボ」を活用し、医療関係、訪問看護、家族と相談・連絡を密にし、本人と家族の望むケア・看取りができるよう内部研修・勉強会を開催し、職員の認知症への更なる理解を深め、認知症ケア・看取りに関する知識等、職員個々のレベルアップに努めます。
- (3) 居宅介護支援事業所やその他の関係機関との連携を図り、入居者の入院などにより一時的に空床になった居室を活用して短期利用サービスを実施することにより、長期的な入院になっても退所せずみろくの郷へ帰ってこられる体制を確保することで、入居者・家族の安心を約束し、また、地域住民の困りごとに対して気軽に相談できる場になることで地域貢献に努めます。

21, 保育所指定管理事業（指定管理）・・佐井村保育所

・運営方針

村では、年々、乳幼児が減少しているものの、子ども・子育て支援については、手厚い支援が繰り広げられています。「子どもと親が安全で安心して暮らせる温かい村」づくりを基本理念として、平成27年度から「子ども・子育て支援事業計画」が本格的に策定され、昨年、その2期目がスタートしました。1期目では、村と連携し、「地域子育て支援拠点事業」として、日々の保育事業のほか「子育て支援センター事業」「一時預かり事業」等も取り組んでまいりました。今後も、これらの事業に対し、質の高い保育の提供、家庭への適切な養育支援等を目標に、さらに子どもや保護者が安心して利用できる身近な子育て支援施設として充実を期していきます。

子ども一人ひとりの人権尊重を基調とし、子どもの中から”勇気”（やる気や意欲、積極性）が湧き出てくる保育の創造を目指していきます。また、地域の子育て支援の拠点として、子育て家庭のみならず地域からも愛される保育所づくりを一層推進していきます。

・利用定員 40名（生後6ヶ月から就学前までの乳幼児）

・実施事項

- (1) 子どもが主人公であり、「地域の宝」であるとの認識を持ち、一人ひとりの心に寄り添う姿勢を大切にしながら、積極的に異年齢交流を深めて、「やさしさ」や「おもいやり」「意欲・積極性」を育み、心身ともに健やかな成長を援助します。
- (2) 父母会の協力を得ながら保育所運営に取り組み、父母の方々との信頼関係を深めていくことで、共に手を取りあった保育をすすめます。また、地域の特性に合わせた、豊かな体験から学ぶ機会を重視し、質の高い保育活動の展開に努めます。
- (3) 地域に開かれた保育所運営を目指し、高齢者や地域の人々との連携を重視し、「郷土を愛する心」と「人とかかわる楽しさを実感する心」の培いをめざして、積極的な交流の機会をつくります。
- (4) 「地域子育て支援拠点事業」の充実と発展に向け、先進園への視察、担当者研修への積極的な参加により、保育士の見識を高め、特に、「乳児保育」の充実を重視し、より良い保育の提供及び子育て支援に努めます。

22, 居宅介護支援事業・・居宅介護支援センター「みろくの郷」

・運営方針

田子町における居宅介護支援事業所としての役割が年毎に増大しています。サービス量が限られる中において、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みにも、いよいよ活発になる中において、現場の課題としての提言や手法への期待も大きく寄せられています。また、一人暮らしや高齢者世帯の数も大きく増えているため、住民からの要望にも応えていく義務を感じます。このような状況を念頭に、更なる職責と地域貢献を図るべく研鑽を惜しまず日々の活動を実践してまいります。

・ケアマネージャー数 4名（うち主任介護支援専門員数 2名）

・実施事項

- (1) 法令に係る必要事項を周知徹底しながら利用者本位のサービスの計画およびモニタリングを通して更に必要な課題を分析し、利用者のニーズにこたえます。法令に関して、事業所内での確認や各種点検をチームで実施します。各種書類の点検管理を確実にいき個人情報や秘密の保守を確実にします。
- (2) 各種研修会や事例検討会に参加して、同業者やサービス事業所及びクライアントが持つそれぞれの視点から課題の理解を深め、面談やカンファレンスに生かしていきます。研修会や学習会もしくは検討会の開催情報について、ネットや事業所間および行政などを通じて確実に得られるようにします。クライアントやその家族、地域の実情をしっかりと把握してサービス計画に反映できるようにします。
- (3) 地域行事や健康推進事業及び介護教室や認知症学習会を通じて地域活動を広げ、居宅サービス事業所の役割について啓蒙し新規利用者の確保を目指します。地域に浸透できるよう各種行事や健康教室、介護教室に参加しながら地域と事業所が隙間なく関われる関係性をもつことにより、クライアントや家族および地域の方々が安心してサービス利用の相談ができる関係づくりを図ります。
- (4) 田子町や三戸町の包括支援サービスの向上に向けた会議や社会福祉活動に積極的に協力する中において行政や事業所間の良好な関係を構築します。行政事業や社会福祉事業を外から見るだけでなく、現場の課題解決のため相互協力ができる関係性を構築する必要があります。地域団体の活動内容や課題が見えると同時に新たなサービスや地域事業の提案などもできるようになることで、よりクライアントに寄り添えるサービス提供につなげていきます。

23, 居宅介護支援事業・「うらら」居宅介護支援センター

・運営方針

高齢化率の高い三戸町の居宅介護支援事業所は、今後の更なる活動で多いに地域貢献が期待されています。より一層の研鑽を積みつつ周辺事業所及び保険者との和合を図りながら介護保険の啓蒙と安心への支援を展開すべく意思を新たにしていきます。

・ケアマネージャー数 1名（内主任介護支援専門員数 1名）

・実施事項

- (1) 法令遵守を徹底して、在宅生活の継続のため利用者及びその後家族の安全や安心を提供できるようにします。
- (2) 保健・医療・福祉の緊密な連携を図り、介護保険サービスインフォーマルサービス発掘と充実及び向上に資するよう活動します。
- (3) 研修や向学の機会を活用して、信頼関係の構築に生かし、きめ細かな相談や対応を心がけた支援が出来るようにします。
- (4) 地域活動、法人行事や協力依頼に積極的に参加をします。関係事業所や関係スタッフともに共同関係を深められるようにします。

(高齢者福祉事業) 令和3年度 社会福祉法人吉幸会 行事実施計画

事業所 月	特養みろく苑	デイみろく苑	G Hみろく苑	G Hみろくの郷 (けんど・かぐち)	ゆうなぎの里	ひだまり
4	創立祭 お花見会 お花見ドライブ	創立祭 お花見ドライブ	創立祭 お花見ドライブ	お花見	創立記念食事会、家族懇 談会 畑苗植え クッキングクラブ	お花見会
5	母の日 お花見会 お花見ドライブ	母の日 お花見会 お花見ドライブ	端午の節句 母の日を祝う会 田子町チャレンジデー 参加	母の日 端午の節句 ドライブ	お花見 クッキングクラブ	母の日 端午の節句 外食ドライブ
6	父の日 大黒森つじ見学 苑外ショッピング 年輪ピック	父の日 年輪ピック	ドライブ 父の日を祝う会 年輪ピック	父の日 年輪ピック	環境整備 (原田地区懇談会) ゆうなぎの里運動会 クッキングクラブ	父の日
7	七夕 苑外ショッピング ドライブ みろくの郷祭り見学	七夕 流しそうめん	七夕祭り 流しそうめん みろくの郷祭り見学 みろく苑夏祭り お盆供養	七夕・流しそうめん みろくの郷祭り	ゆうなぎ夏祭り クッキングクラブ	創立祭 バーベキュー 土用の丑の日
8	みろく苑夏祭り お盆 納涼祭 苑外ショッピング ドライブ	みろく苑夏祭り お盆	みろく苑夏祭り お盆供養	みろくの郷 BBQ みろく苑夏祭り見学	夕涼み会 原田神楽見学 畑苗植え クッキングクラブ	夏祭り
9	みろく苑敬老会 田子町敬老会 お彼岸 三戸祭り見学	みろく苑敬老会 三戸祭り見学	みろく苑敬老会 田子町敬老会 三戸祭り見学	ドライブ 田子町敬老会	八幡宮祭典見学 クッキングクラブ	ひだまり敬老会 五戸まつり見学

事業所 月	特養みろく苑	デイみろく苑	GHみろく苑	GHみろくの郷 (けんど・かぐち)	ゆうなぎの里	ひだまり
10	秋の収穫祭(会食) 紅葉ドライブ シヨッピング(二戸) MRKのど自慢大会	収穫祭 MRKのど自慢大会	にんにくとべご祭り見学 紅葉ドライブ MRKのど自慢大会 田子町文化祭見学	紅葉ドライブ	佐井村敬老会 クッキングクラブ ハロウィンレク ゆうなぎ講座	紅葉ドライブ
11	田子町文化祭参加・見学	田子町文化祭見学	ほのぼの交流会	田子町文化祭見学	ゆうなぎの里敬老会 クッキングクラブ	
12	忘年会 年越しを楽しむ会	忘年会	忘年会 GHクリスマス会	クリスマス忘年会	クリスマス会 しめ縄づくり クッキングクラブ	クリスマス忘年会
1	春祈祷 新年を楽しむ会 お汁粉づくり	春祈祷 デイサービス新年を楽しむ会	春祈祷 新年会	正月新年会 春祈祷	初詣 生け花	新年を祝う会(餅つき) 初詣
2	節分	節分 バレンタインデー	節分(豆まき)	豆まき MRKのど自慢大会	節分	節分
3	ひな祭り お彼岸	ひな祭り ホワイトデー	ひな祭り	ひな祭り	ひな祭り 居酒屋	桃の節句(ひな祭り)
随時実施	○町内幼稚園・保育所の運動会・お遊戯会見学 ○町内ドライブ ○シヨッピング ○誕生会 ○苑外散歩 ○収穫祭	○誕生会(毎月) ○料理クラブ ○シヨッピング ○プチドライブ	○誕生会 ○ドライブ ○シヨッピング ○苑外散歩 ※2月3月は感染予防のため苑内合同行事は行いません	○誕生会 ○買い物	○誕生会 ○ドライブ・外食 ○シヨッピング	○誕生会 ○料理クラブ

事業所 月	能舞の里	しおさい岬	いちいの森	野辺地ホーム	ラ・メール白山台	ラ・メール小中野
4	お花見ドライブ	お花見会 味覚フェア (春)	お花見ドライブ (外食)	誕生茶話会 (開設記念)	お花見ドライブ	お花見ドライブ
5	そば街道	植樹祭 食レク	菜の花花見ドライブ (外食)	誕生茶話会	母の日 端午の節句	母の日 端午の節句
6	スポーツ大会	カラオケ大会 食レク	いちいの森大運動会	誕生茶話会	父の日 シヨッピング	父の日 シヨッピング
7	納涼祭 創立祭	創立記念祭	七夕納涼祭	誕生茶話会	七夕 流しそうめん	七夕 流しそうめん
8	能舞・いちい合同夏祭り り よさこいフェスタ参観	夏祭り	いちいの森夏祭り 東通来さまいフェスタ タ観覧	誕生茶話会	バーベキュー 夏祭り (花火大会)	バーベキュー 夏祭り (花火大会)
9	敬老会	敬老会 食レク	敬老会 町敬老会参加	敬老会	敬老会	敬老会

事業所 月	能舞の里	しおさい岬	いちいの森	野辺地ホーム	ラ・メール白山台	ラ・メール小中野
10	そば街道	味覚フェア (秋) 食レク	創立祭	誕生茶話会	紅葉ドライブ	紅葉ドライブ
11	紅葉ドライブ	紅葉狩り 天ぷら屋さん	紅葉ドライブ (外食)	誕生茶話会	秋の運動会	秋の運動会
12	クリスマス会	クリスマス会	クリスマス会	誕生茶話会 (忘年会)	クリスマス会	クリスマス会
1	婦人会慰問 (餅つき踊り)	お寿司レク	婦人会慰問 (餅つき踊り)	誕生茶話会	新年会	新年会
2	節分	節分豆まき 中華フェス	節分	誕生茶話会 (豆まき)	節分	節分
3	ひな祭り	ひな祭り スイーツバイキングレク	ひな祭り 茶話会	誕生茶話会 (ひな祭り)	ひな祭り	ひな祭り
随時実施	○ドライブ・外食 ○シヨッピング	○誕生会 ○ドライブ・外食 ○シヨッピング ○作品作り ○ラジオ体操				

令和3年度 高齢者福祉事業研修実施計画

① 内部研修計画

事業所 月	特養みろく苑	デイみろく苑	GHみろく苑	GHみろくの郷	居室（郷・うらら）	特養ゆうなぎの里
4	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の基本方針 ・安全運転講習会 ・ケアプラン作成勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の基本方針 ・安全運転講習会 ・ケアプラン作成勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理（労働災害防止） ・感染対策 ・非常・災害時の対応 ・認知症及び認知症ケア研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の基本方針 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の基本方針 ・事例検討会（月1回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理規定について
5	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症・食中毒蔓延防止について ・認知症及び認知症ケア ・倫理及び法令遵守 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症について ・着脱、入浴介助について ・接遇について 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理（交通安全） ・感染対策（流行性結膜炎） ・身体拘束理解と排除への取組み ・認知症及び認知症ケア研修 ・倫理及び法理遵守 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症と食中毒予防、蔓延防止について ・看取り介護の理念と理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会（月1回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内事故発生時の対応
6	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待防止の理解と職員の役割 ・認知症及び認知症ケア研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束について ・介護疑似体験（トランスファー） ・緊急時対応勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理（熱中症・夏バテ防止） ・感染対策（食中毒予防蔓延防止） ・高齢者虐待防止の理解 ・認知症及び認知症ケア研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待の防止と職員の役割 	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討会（月1回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止について
7	<ul style="list-style-type: none"> ・救急救命について ・認知症及び認知症ケア研修 ・身体拘束排除への取組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護事故について ・法令遵守について 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理（働き方改革） ・救命救急について ・感染対策（夏風邪防止） ・認知症及び認知症ケア研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・救命救急について ・夜間、急変時の対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会（月1回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・医務による研修会
8	<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシー保護について ・認知症及び認知症ケア研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシー保護について ・介護疑似体験（乗車） ・安全運転講習 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理（緊急時対応） ・身体拘束理解と排除への取組み ・認知症及び認知症ケア研修 ・感染予防（疥癬） 	<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシー保護について 	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討会（月1回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内事例発表
9	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症及び認知症ケア 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症について ・介護疑似体験（車イス） 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理（メンタルヘルズ） ・感染予防（予防接種の効果） ・認知症及び認知症ケア研修 ・身体拘束理解と排除への取組み ・リスクマネジメントの考え方 	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理及び法令遵守について ・看取りにおける家族との関わり方（チームケア） 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会（月1回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護従事者の気づきの力を高める研修報告 ・感染委員会による勉強会

事業所 月	特養みろく苑	デイみろく苑	GHみろく苑	GHみろくの郷	居宅（郷・うらら）	特養ゆうなぎの里
10	<ul style="list-style-type: none"> リスクマネジメントの考え方について 認知症及び認知症ケア研修 	<ul style="list-style-type: none"> 介護疑似体験（入浴） ケアプラン作成勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> 衛生管理（ストレスチェック） 認知症及び認知症ケア研修 プライバシー保護について 感染対策（マニュアル実施等） 	<ul style="list-style-type: none"> リスクマネジメント 	<ul style="list-style-type: none"> 事例検討会（月1回） 	<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束廃止について
11	<ul style="list-style-type: none"> 安全連講講習会 接遇とコミュニケーションの基本 認知症及び認知症ケア 	<ul style="list-style-type: none"> 介護疑似体験（オムツ交換） 安全連講講習 非常災害対応について 	<ul style="list-style-type: none"> 衛生管理（インフル、ノロ予防） 身体拘束理解と排除への取組み 感染対策（感染症予防） 認知症及び認知症ケア研修 	<ul style="list-style-type: none"> 接遇とコミュニケーション 死生観教育、死へのアプローチ 	<ul style="list-style-type: none"> 勉強会（月1回） 	<ul style="list-style-type: none"> 介護力向上委員会による研修会
12	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザ予防について ノロウイルス予防について 認知症及び認知症ケア研修 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の健康管理について 感染症対策について 	<ul style="list-style-type: none"> 衛生管理（冬期間の労働災害防止） 感染対策（流行情報の共有） 認知症及び認知症ケア研修 接遇とコミュニケーション 	<ul style="list-style-type: none"> ノロウイルスについて 	<ul style="list-style-type: none"> 事例検討会（月1回） 	<ul style="list-style-type: none"> 感染委員会による研修会
1	<ul style="list-style-type: none"> 認知症及び認知症ケア 	<ul style="list-style-type: none"> 介護疑似体験（聴聴） 認知症について 	<ul style="list-style-type: none"> 衛生管理（腰痛・肩こり防止） 認知症及び認知症ケア研修 感染対策（流行情報の共有） 医療について 	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザについて 看取り期の機能的・精神的変化変化への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 勉強会（月1回） 	<ul style="list-style-type: none"> 施設内事例発表
2	<ul style="list-style-type: none"> 医療について 認知症及び認知症ケア研修 	<ul style="list-style-type: none"> 介護疑似体験（コミュニケーション） ケアプラン作成勉強会 緊急時対応勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> 衛生管理（防犯対策） 感染対策（流行情報の共有） 認知症及び認知症ケア研修 身体拘束理解と排除への取組み 	<ul style="list-style-type: none"> 医療に関する研修会 	<ul style="list-style-type: none"> 事例検討会（月1回） 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の虐待防止と職員の役割
3	<ul style="list-style-type: none"> 次年度基本方針について フアーストステップ研修報告会 認知症及び認知症ケア研修 	<ul style="list-style-type: none"> 介護疑似体験（トランスファー） 接遇について 	<ul style="list-style-type: none"> 次年度の基本方針 衛生管理（睡眠について） 感染対策（流行情報の共有） 認知症及び認知症ケア研修 	<ul style="list-style-type: none"> 看取り介護についての事例検討会 	<ul style="list-style-type: none"> 勉強会（月1回） 	<ul style="list-style-type: none"> 施設内身体拘束・事故内容集計結果報告 接遇講習会
その他 の研修	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修の伝達研修 新入職員研修 法人全体研修会 研修研究発表大会 					

事業所 月	ひだまり	能舞の里	特養しおさい岬	いちいの森	野辺地ホーム	ラ・メール 白山台	ラ・メール 小中野	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の基本方針について 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画 ・新採用職員研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画 ・新型コロナウイルスについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症について 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画 ・新採用研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画 ・身体拘束及び虐待防止について 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画 ・身体拘束及び虐待防止について 	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症及び食中毒の予防と蔓延防止について 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護 ・倫理及び法令遵守 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護について 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護について 	<ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護について 	<ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護について
6	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待防止の理解と職員の役割 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策（食中毒） 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職員の心がけ研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護技術（トランスファー） 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応 ・接遇について 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症及び食中毒予防について 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症及び食中毒予防について 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症及び食中毒予防について
7	<ul style="list-style-type: none"> ・救命救急について 	<ul style="list-style-type: none"> ・熱中症について 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の虐待防止研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアコロポの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束排除について 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉現場における倫理及び法令順守 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉現場における倫理及び法令順守 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉現場における倫理及び法令順守
8	<ul style="list-style-type: none"> ・介護現場におけるプライバシー保護について 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療（投薬・誤薬について） 	<ul style="list-style-type: none"> ・食中毒予防研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護技術（オムツの当てる方） 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止（リフト・バネット） 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護現場におけるプライバシー保護について 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護現場におけるプライバシー保護について 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護現場におけるプライバシー保護について
9	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉現場における倫理及び法理遵守について 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止、身体拘束 	<ul style="list-style-type: none"> ・古辛会スキルアップ研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療に関する研修（講師：アイン薬局薬剤師） 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケア 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアについて

事業所 月	ひだまり	能舞の里	特養しおさい岬	いちいの森	野辺地ホーム	ラ・メール 白山台	ラ・メール 小中野
10	<ul style="list-style-type: none"> リスクマネジメントの考 え方について 	<ul style="list-style-type: none"> 医療(急変時の対応に ついて) 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護研修 	<ul style="list-style-type: none"> 医療に関する研修(講 師：診療所医師) 	<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束について 	<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束及び虐待防 止について(2回 目) 	<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束及び虐待防 止について(2回 目)
11	<ul style="list-style-type: none"> 接遇とコミュニケーション について 	<ul style="list-style-type: none"> 成年後見制度 	<ul style="list-style-type: none"> 施設看取り研修 	<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束について 	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザ、ノロ ウイルスについて 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症予防について (2回目) 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症予防について (2回目)
12	<ul style="list-style-type: none"> ノロウイルスについて 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症 	<ul style="list-style-type: none"> ケース記録研修 	<ul style="list-style-type: none"> 事故防止について 	<ul style="list-style-type: none"> 口腔ケアと健康について 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症ケアについて 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症ケアについて
1	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザについて 	<ul style="list-style-type: none"> 医療(褥瘡) 	<ul style="list-style-type: none"> アングーマネジメン ト研修 	<ul style="list-style-type: none"> 夜間緊急時の対応に ついて 	<ul style="list-style-type: none"> 事故防止(リスクマネジ メント) 	<ul style="list-style-type: none"> 接遇とコミュニケーション について 	<ul style="list-style-type: none"> 接遇とコミュニケーション について
2	<ul style="list-style-type: none"> 医療に関する研修会 	<ul style="list-style-type: none"> 看取りについて 	<ul style="list-style-type: none"> 身体的拘束廃止に関 する勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者虐待について 	<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止 ハラズメントについ て 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症ケアについて 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症ケアについて
3		<ul style="list-style-type: none"> 事故防止(ヒヤリハット統 計) 各委員会から報告 次年要計画 	<ul style="list-style-type: none"> 倫理規定と職員の役 割について 	<ul style="list-style-type: none"> 施設で行う医療行為につ いて 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症ケア 	<ul style="list-style-type: none"> 事故発生等の緊急時対応 について 	<ul style="list-style-type: none"> 事故発生等の緊急時対応 について
その他 の研修	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修の伝達研修 新入職員研修 法人全体研修会 研修研究発表大会 						

② 主な外部研修

事業所 月	みろく苑：ひだまり：野辺地 ラ・メール白山台：ラ・メール小中野 (特養・SS・デイサービス・GH苑・GH郷・居宅郷・うらら)	ゆうなぎ：能舞：しおさい：いちい (特養・SS)
4	<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉施設新任職員研修 ・介護予防教室見学・参加 ・シナプソロジー 	<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉施設新任職員研修
5	<ul style="list-style-type: none"> ・県老協会新任職員研修会 ・介護支援専門員従事者基礎研修 ・介護支援専門員実務従事者研修 ・介護福祉士ファーストステップ研修 ・介護スキルアップ研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談業務にかかわる研修会 ・喀痰吸引研修 (講義・演習) ・ユニットリーダー研修 ・むつ下北施設職員研修 ・青森県看護協会研修
6	<ul style="list-style-type: none"> ・相談業務に関わる研修会 ・青森県介護福祉士会研修会 ・県老協相談業務にかかわる研修会 ・介護従事者のための公開講座 ・認知症介護基礎研修 ・前期ユニットリーダー研修 ・介護記録研修会 ・喀痰吸引研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・喀痰吸引研修 ・前期ユニットリーダー研修 ・青森県介護福祉士会研修会 ・認知症介護基礎研修 ・福祉施設職員経理研修
7	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症及び食中毒の予防及び蔓延の防止についての研修 ・介護スキルアップ研修 (初任者) ・普通救命講習会 ・喀痰吸引等研修 (実地研修) ・認知症介護基礎研修 ・ノーリフティングケア研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護スキルアップ研修 (初任者) ・喀痰吸引等研修 (第二号研修) ・栄養、食育マネジメント研修 ・キャリアアップ研修 (初任者) ・介護福祉士基本研修
8	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症介護実践者研修 (実践者研修) ・喀痰吸引指導者講習 (演習) ・シナプソロジー ・社会福祉トップセミナー 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待防止研修会 ・喀痰吸引研修 (講義・演習) ・職形態の選択・変更研修 ・施設内ケアマネ研修会
9	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養・食育マネジメントセミナー ・社会福祉施設看護職員研修会 ・青森県介護支援専門員協会八戸支部研修会 ・認知症介護実践研修 (実践リーダー研修) ・介護サービス公表制度「10の研修テーマ」に係わる研修会 ・介護予防教室見学・参加 ・喀痰吸引研修 (筆記研修) 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービス公表制度「10の研修テーマ」に係わる研修会 ・食事の不良姿勢に有効なシーティング研修 ・介護スキルアップ研修 ・体験型チームワーク向上研修 (むつ会場) ・スーパーボランティア研修

事業所 月	<p>みろく苑：ひだまり：野辺地 ラ・メール白山台：ラ・メール小中野 (特養・SS・デイサービス・GH苑・GH郷・住宅郷・うらら)</p>	<p>ゆうなぎ・能舞・しおさい・いちい (特養・SS)</p>
10	<ul style="list-style-type: none"> ・HCR 国際福祉機器展 (東京都) ・ケアマネプラン研修会 ・リスキマネジメント研修会 ・介護サービス公表制度「10の研修テーマ」に係わる研修会 (10月～12月) ・介護スキルアップ研修 (認知症ケア) ・介護記録研修会 ・後期ユニットリーダー研修 ・青森県介護支援専門員専門研修 (更新研修) 	<ul style="list-style-type: none"> ・後期ユニットリーダー研修 ・むつ下北地区老人福祉協会研修会 ・介護サービス公表制度「10の研修テーマ」に係わる研修会 ・認知症タイプ別ケア研修 ・チームワーク向上研修 ・介護記録研修 ・口腔機能向上プログラム研修 ・キャリアアップ研修 (中堅職員)
11	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士初任者研修 ・認知症ケア研修 ・リスキマネジメント研修会 ・AED 救急救命研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・リスキマネジメント研修会 ・介護スキルアップ研修 ・介護サービス公表制度「10の研修テーマ」に係わる研修会 ・キャリアアップ研修 ・老人福祉協会研修 ・排泄ケア研修会 ・介護技術研修会
12	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸地区グループホーム協会研修会 (12月～3月まで) ・介護福祉士研修 ・介護スキルアップ研修 (中堅職員) ・シナプソロジー ・施設ケアマネのためのケアプラン研修会 ・認定調査従事者現任者研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ・リスキマネジメント研修 ・施設ケアマネのためのケアプラン研修会 ・介護関係従事者講座 ・認定調査従事者現任者研修会 ・介護スキルアップ研修 (中堅職員) ・感染対策勉強会
1	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師研修 ・八戸地域介護サービス協議会研修 ・ユニットリーダー研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション技法研修会
2	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待防止研修会 ・認知症キャラバンメイト養成研修 (野辺地) 	<ul style="list-style-type: none"> ・退職手当共済制度等説明会 ・認知症介護技術講習会 ・認知症ケアのための多職種連携研修 ・高齢者虐待防止研修会
3	<ul style="list-style-type: none"> ・シナプソロジー ・退職手当共済制度等説明会 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者を支える地域づくりセミナー ・介護サービス事業者等に対する集団指導

令和3年度 児童福祉事業行事・研修実施計画

	行 事	内部研修	外部研修
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入所式 ・ 内科検診、歯科検診 ・ 防火パレード ・ お花見会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所運営、保育理念と今年度の保育方針 ・ 保育会議にて研修 ・ 消火器実技研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県保連むつ支部（主任部会、0～5歳児部会、給食部会、用務員部会）
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ いもまき ・ 消防団観閲式 ・ こども赤十字登録式 ・ 花植え ・ 総合避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育指針の理解 ・ 非常災害時の対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就学指導説明会 ・ 県保連むつ支部（施設長部会、主任部会、2歳児部会、用務員部会、主任部会、給食部会）
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育参観、懇談会 ・ 田植え体験 ・ 運動会 ・ 虫歯予防教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全管理（事故、怪我の防止）について ・ プール使用時の注意 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県保連むつ支部施設長部会 ・ 青森県保育研究大会 ・ 県発達障害（ステップ）セミナー研修会
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 七夕 ・ エンジョイサマー ・ 夕涼み会 ・ 防犯訓練 ・ 人形劇鑑賞会 ・ 虫歯予防教室 ・ プール開き 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食育年間計画 ・ むつ養護学校保育所訪問 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所長研修（日本保育協会） ・ 主任保育士研修（日本保育協会） ・ 就学教育相談会
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ いもほり ・ 収穫祭 ・ 虫歯予防教室 ・ さい荘夏まつり参加 ・ あすなろ夏祭り参加 ・ 5歳児エンジョイサマー ・ 虫歯予防教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の人権について ・ ケース検討会①（障害児への対応） ・ パワーポイント研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 佐井村子ども発達相談連協議会 ・ 県保連むつ支部（3歳児部会、子育て講演会、主任部会、給食部会）
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ お月見だんごづくり ・ お祭りパレード 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衛生管理の改善について ・ 救急法講習会（AED、けが対応） ・ 発達障害研修会 ・ 事例研究リハーサル 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県保連むつ支部（施設長部会、給食部会、1歳児部会） ・ 親子で楽しむ身体作り研修 ・ 親子すくすくスキッキング事業

	行事	内部研修	外部研修
10	<ul style="list-style-type: none"> 敬老会参加 内科検診、歯科検診 防火パレード 保育懇談会 総合避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 地震等防災対策の強化について ケース検討会②（放水訓練） 	<ul style="list-style-type: none"> 県保連むつ支部（主任部会、給食部会・用務員部会） 給食研修会 むつ養護学校教育相談会 むつ保育の広場
11	<ul style="list-style-type: none"> 発表会 ゆうなぎの里慰問 虫歯予防教室 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対応マニュアル研修会 	<ul style="list-style-type: none"> 県保連むつ支部（施設長部会、給食部会）
12	<ul style="list-style-type: none"> 中3ふれあい体験 クリスマス会 	<ul style="list-style-type: none"> 児童虐待の早期発見 事例研究発表会 	
1	<ul style="list-style-type: none"> 新年餅つき会 こま回し大会 冬の親子の集い 	<ul style="list-style-type: none"> アレルギー対策について 	
2	<ul style="list-style-type: none"> 豆まき会 記念撮影会 防火訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 事務の効率的な引継ぎ 	
3	<ul style="list-style-type: none"> ひな祭り 修了式 お別れ会 	<ul style="list-style-type: none"> 年度末反省 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども子育て支援報告会参加
その他	<ul style="list-style-type: none"> 誕生会（毎月） 避難訓練（毎月） 	<ul style="list-style-type: none"> 研修委員会（毎月） 	

③ 主な会議・委員会・勉強会等

	みろく苑	ゆうなぎの里	ひだまり	能舞の里	しおさい岬	いちいの森	野辺地ホーム	ラ・メール 白山台	ラ・メール 小中野
各種会議	職員会議(月1回) 主任会議(月2回) 給食会議(月1回) 各部署会議(毎月) 各部署ケース会議(随時) 運営推進会議 (GH苑・GH郷)	全体会議(月1回) 運営会議(月1回) 給食会議(月1回) ユニットケア会議(随時) 運営推進会議 家族会	職員会議(月1回) リーダー会議(月1回) 給食会議(月1回) ユニット会議(月1回) 運営推進会議 家族会	全体会議(月1回) 運営会議(月1回) リーダー会議(月1回) 給食会議(月1回) ユニット会議(月1回) 運営推進会議 家族会	全体会議(月1回) 運営会議(月1回) 給食会議(月1回) ユニット会議(月1回) 運営推進会議	全体会議(月1回) 運営会議(月1回) 給食会議(月1回) 介護職員会議(月1回)	全体会議(月1回) 給食会議(月1回) 評価・ケア担当者会議(月1回) 家族会	職員会議(月1回) リーダー会議(月1回) 給食会議(月1回) ケース会議(月1回)	職員会議(月1回) リーダー会議(月1回) 給食会議(月1回) ケース会議(月1回)
委員会	感染対策委員会 褥瘡対策委員会 事故防止委員会 身体拘束防止委員会 行事係 広報係 環境係 入所判定委員会 衛生委員会	感染予防・褥瘡対策委員会 事故防止・身体拘束防止委員会 広報・行事・環境美化委員会 介護力向上委員会 入所判定委員会	感染・褥瘡予防委員会 評価対策(業務改善)委員会 研修委員会 身体拘束防止・事故防止委員会 広報委員会	苦情処理委員会 感染予防・褥瘡予防対策委員会 事故防止委員会 身体拘束適正化検討委員会 行事・環境美化委員会 入所判定委員会	感染予防委員会 業務改善委員会 研修委員会 身体拘束防止委員会 事故防止委員会 褥瘡予防委員会 行事委員会 環境美化委員会 広報委員会	給食・口腔ケア委員会 褥瘡対策・医療的ケア安全委員会 身体的拘束適正化委員会 施設内事故防止委員会 排泄委員会 広報活動委員会 感染予防委員会 生活環境管理委員会	感染対策委員会 褥瘡対策委員会 ヒヤリハット・事故防止委員会 身体拘束防止委員会 行事係	感染対策委員会 褥瘡対策委員会 ヒヤリハット・事故防止委員会 身体拘束防止委員会 行事係	感染対策委員会 褥瘡対策委員会 ヒヤリハット・事故防止委員会 身体拘束防止委員会 行事係
佐井村保育所									
各種会議	保育懇談会(年3回) 職員会議(月1回) 保育会議(月1回) 父母会								
その他の活動	○定例施設長会議(年4回) ○研修委員会主催の全体研修会(年2回) ○新入職員研修(採用時研修は各事業所で随時実施) ○各種資格取得支援(資格取得のための情報提供、勉強会の実施) ○ケアマネージャー資格取得支援(6月～10月)、介護福祉士資格取得支援(9月～1月)、管理栄養士資格取得支援(10～2月) ○法人主催の介護福祉士実務者研修の実施								